

おぞの

尼崎市立小園小学校 学校だより

令和3年5月31日

No.4

ひとつひとつ丁寧に

校長 平野 真紀

今年は例年よりかなり早く梅雨に入りました。天候不順な季節ですが、大人も子どもも体調管理をしっかりと行いつつ、コロナ感染防止にも引き続き努めなければなりません。緊急事態宣言が延長されることになり、当初の予定を変更して計画、準備していた行事や活動が再び振り出しに戻るというつらい状況です。いつになれば学校での生活様式を少しずつでも通常に戻していけるのか、先は見通しにくいままです。子どもたちのためにやってあげたいことはいくらでもあります、その時どきの状況を見ながら、ひとつひとつ丁寧に考えていきたいと思えます。

先日音楽の授業で、6年生が音楽室で校歌を歌う姿を1年生の教室に向けて生配信していました。双方のタブレットを使い、Google Meet でやりとりしました。入学してまだ一度も上級生から校歌のお手本を見せてもらう機会がなかった1年生は、みんな画面に釘付けになっていました。歌を聞いた感想を言うときには積極的に手を上げて発言し、それを聞いた6年生もとても嬉しそうでした。そのタブレットですが、ひとり1台ずつ支給されて以降、ネットで調べものをしたりロイロノートという学習支援アプリを使ったりと、子どもたちは徐々に使い慣れつつあります。一度要領を覚えればすぐに使いこなせるようになるのが今どきの子どもたちです。彼らが生きる未来社会『Society5.0』の担い手が、今どんどん育っているのだと感じます。



5月26日、非常変災時等に備えた地区別集団下校を行いました。今年度は、地域学校協働活動のひとつとして地域の方にも参加をお願いし、子どもたちといっしょに歩いていただきました。初めての試みでしたが、当日は38名の方が集まってくださり、23グループに分かれて付き添っていただきました。子どもたちに



としては、地域ごとの集団で安全に下校する練習になったと同時に、自分たちが地域の方々に守られている、大切に思われていると感じられるよい機会になったと思います。2学期と3学期の始業式の日にも同様に行う予定です。参加して下さった校区の自治会長様並びに尼崎東防犯協会、地域の補導委員、阪神医療生協、さわやかあいさつの会、おぞの子ども居場所推進委員会の皆様、本当にありがとうございました。

【PCR受検について、次の点について再度お願いします。】

児童または同居する人がPCR検査を受けることが決まった時点で、なるべく早く学校に連絡し、児童の登校は控えてください。

